

令和7年度に鹿児島県立かごしま林業大学校が開校します

鹿児島大学農学部附属演習林

鹿児島大学農学部附属高隈演習林（以下、本演習林）は、鹿児島県が令和7年度4月開校に向けて準備を進めている「かごしま林業大学校」に協力して、鹿児島県の林業技術者養成に取り組みます。かごしま林業大学校は、林業就業者向けの1年間の長期研修プログラムで、林業の基礎から最先端技術まで幅広い知識と技術を兼ね備えた安全意識が高く、即戦力となる人材の育成を目標としています（鹿児島県、林業大学校の設置に係る基本計画、2023.12）。

研修を実施する施設は、鹿児島県始良市にある県の林業研究試験場（現森林技術総合センター研修施設）に隣接する「森の研修館かごしま」と鹿児島県垂水市にある本演習林の2か所が計画されています。カリキュラムは、資格取得や林業基礎などの基本的項目、伐倒造材などの技術的項目、森林経営などの応用的項目など多岐に及び、本演習林では講義と演習林のフィールドを活かした実習を組み合わせながら研修を行う予定です。例えば、研修生が実習で調査したフィールドのスギを伐倒・造材して、柱材などの商品となった木材を実際に販売するなど、複数のカリキュラムや実習をフィールドで統合することで伐倒から販売までの一連の流れを体感でき、理解につながる仕組みづくりを構想しています。

本演習林は、2007年に開始した職業人教育プログラムである林業マイスター養成講座が今年で17年目を迎えるなど、新規就労者から林業経営者を含めた熟練技術者まで業界人に向けた幅広い研修プログラムが充実しています。南九州の林業を盛り上げていく一助になるよう今後も様々な取り組みを展開してまいります。